

第70番札所 七宝山 持宝院 本山寺

— 空に向かって伸びる五重塔を目印に、いざ国宝の本堂へ —

本尊：馬頭観音（秘仏）
所在地：香川県三豊市豊中町本山甲1445
TEL：0875-62-2007
宿坊：なし



平城天皇の勅願により、弘法大師が一夜ほどのうちに本堂を建立したという伝説をもつ本山寺。広々とした田園が続く町のどこからでも目に入る、美しい佇まいの五重塔が寺のシンボルです。

戦国時代に讃岐の国を襲った長宗我部勢の兵火から免れたため、建築当時の面影を残すお堂を見ることができる、数少ないお寺のひとつです。建築ファンからの人気も高い札所で、特に国の重要文化財である仁王門と、国宝の本堂は一見の価値があります。

どしりと構える仁王門は、鎌倉後期の建築で、円柱の八脚門のめずらしい造り。唐様の絵模様彫刻も施されています。この仁王門をくぐって正面に見えてくる寄棟造りの本瓦葺きのお堂が本堂。こちらは1300年に建てられたもので、和様や唐様、天竺様などがミックスされた折衷様式。鎌倉時代に見られる密教建築の典型です。

また、四国霊場で唯一、ご本尊に馬頭観音をまつているのも大きな特徴です。この「馬頭観音」は、馬が草をむさぼり食うように、煩惱を食べ尽くし災難をとり除いてくれるといわれています。参拝の際は、今一度、悪心や欲心について見つめ直してみましょう。動物たちの守護仏であるため動物愛好家からの支持も厚い観音様です。

